

7/21 金曜ふれあい夜市 にぎやかに

日南町商工会青年部が主催する「金曜ふれあい夜市」が、JR生山駅前を会場に開催されました。会場には焼きそばやかき氷、金魚すくいなどの屋台が並び、奥日野源流太鼓の演奏や荒金敏文さん（阿毘縁）によるサクソの演奏などが行われました。昨年復活したこの夜市は、今年も子どもから大人まで町内外から多くの来場がありました。



7/28 多里の火祭り ～多里是好日～

多里地域恒例の夏祭り「多里の火祭り」が4年ぶりに開催されました。この祭りは、従来の愛宕祭と宮島祭の地域行事に合わせ、多里まちづくり推進協議会が主催で企画したものです。旧備後街道・多里宿の街並がろうそくの灯りで彩られ、訪れた人たちは幻想的な風景を楽しんでいました。

そばや焼きとうもろこしなどの販売や、まなびや縁側日南拠点の生徒によるスーパーボールすくい、花火打上などの企画もあり、地域内外から多くの人が訪れました。



7/19 選果機リニューアルで気持ちも新たに！ 日南トマト出荷式

生山のJA鳥取西部日南トマト選果場で、日南トマトの出荷開始に合わせ出荷式が行われました。昨年度には選果機の改修工事を行い、リニューアルした選果機の稼働式もあわせて行われました。選果機の改修工事ではAI判定装置を新設し、この装置を使うことによって、選果の効率化や作業技術の均一化を図ることができます。

生産部員は現在40人で、このうち12人が日南町の農業研修生を経て就農した生産者です。昨年の反収は9.6トンと過去最高を記録し、今年もその高い反収をキープしながら販売額2億200万円を目指します。



7/21・22 日南町を野菜で元気に！ 野菜を食べようプロジェクト

8月1日から8月7日は「栄養週間」、8月4日は「栄養の日」です。その栄養週間に合わせ、7月22日に道の駅にちなん日野川の郷で「日南町を野菜で元気に！野菜を食べようプロジェクト」を行いました。このプロジェクトは、野菜を毎日食べる日南町民の割合が、約4割（令和元年度調査）と少ない現状を改善するために、昨年度から行っています。今年は、夏野菜が旬を迎え、店頭へたくさん出回るこの時期に、野菜クイズなど野菜について楽しく学べるブースの設置や、栄養相談、来場者への啓発物配布などを行いました。

また、今年度から年に1ヶ所ずつ事業所を訪問することとし、今年7月21日にサワタ建設を訪問しました。同社は、こども園でのしいたけ栽培を通じた食育に尽力しており、その活動への感謝の意を伝えるとともに、野菜摂取を啓発するため、日南町食育推進協議会から啓発物を届けました。日南町食育推進協議会会長の松本由美さんは、「日南町のおいしい野菜を朝・昼・夜と食べ、暑さに負けず元気に過ごしてほしい」と話しました。



7/3 前・行政相談委員 東さんへ感謝状

令和4年度末に行政相談委員を退任された東洋祐さんに対し、総務大臣から感謝状が贈呈され、鳥取行政監視行政相談センター所長の小椋和雄さんから感謝状が代理交付されました。

生山を拠点に司法書士として活動されている東さんは、日南町で平成31年4月から4年間行政相談委員を務め、町民の身近な相談相手として、行政に関する苦情などの相談を受け付け、町民と行政のパイプ役として活動してこられました。



7/5 企業版ふるさと納税感謝状贈呈式 広島建設㈱

注文住宅や大型建築物の施工・不動産を手掛ける広島建設㈱（千葉県柏市）から、企業版ふるさと納税として300万円の寄附をいただきました。令和4年3月にも同社から100万円の寄附があり、2年続けての寄附となりました。

この日は、同社代表取締役の島田秀貴さんへ、町産材を使用した木製の感謝状を渡しました。いただいた寄附金は、「SDGsによる持続可能な共生・協働の森整備事業」による新植活動に活用します。

島田さんからは、「木造建築を担う企業として、日本の森林保全や木材産業の発展、さらにはその事業を担う人材育成にも微力ながら貢献できればと考え、日南町への寄附を実施しました。苗木を植えてから木材として利用できるようになるまでには50～60年がかかると言われていますが、未来に向けて国産材を大切に育てることで、国内林業の維持・発展に貢献できると考えています。木造建築を担う企業として、今後も様々な支援を続けてまいります」とメッセージをいただきました。



7/3 未来を担う中学生が将来を語り合う 「未来の語り場」

富士通Japan㈱（東京都港区）が行う「未来の語り場」事業が、日南中学校3年生の生徒を対象に行われました。この「未来の語り場プロジェクト」は、日本の課題解決に向け、未来を担う中高生とともに考え将来を共に語り合うもので、令和3年のスタート以来全国で活動の輪が広がっています。

この日の目的は、「社会の課題解決に向け自分自身に何ができるのか、『ジブンゴト』で考えるきっかけにする」というもので、生徒は「社会やまちの望ましい未来の姿」「各自が大切にしているもの」についてグループワークを行いました。

参加した生徒は、「大人とグループワークをするのは新鮮でよかった」「未来を変えていくのは自分たちなんだなと思った」などと感想を話していました。



7/4 ちまき作りに挑戦！

日南小学校5年生の児童が、日南町食育推進協議会の指導を受けてちまき作りに挑戦しました。児童は、はじめに動画を見て笹の巻き方を学び、その後実際に手ほどきを受けながら団子に笹を巻いていきました。

本来ちまきは端午の節句に食べるものとされていますが、日南町ではその頃には笹の新芽が出ていないため、6月の終わりから7月の初めにかけて作られています。食育推進委員の七瀬寿恵さんは、「家でも作って、伝統を伝えていってほしい」と、伝統料理への想いを児童へ話していました。

